

ワークシートその1: (ビジネスモデルの「6つの柱」)



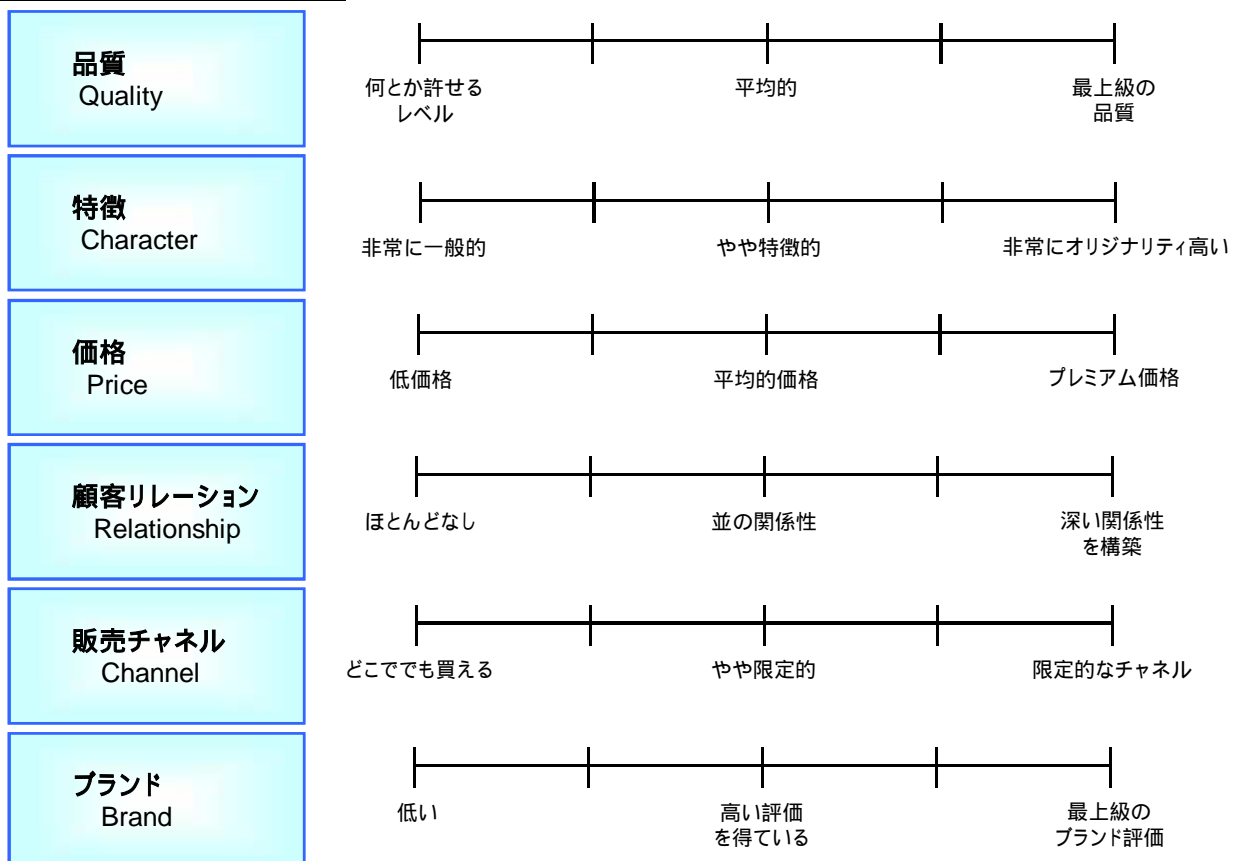
<ビジネスモデルを可視化する>

- ✓ まず、あなたのビジネスと同じ業界にいる主たる競合企業のビジネスモデルを思い浮かべ、「6つの柱」のそれぞれについて、どのようなポジショニングにあるか、当てはまる箇所に をつけて、6つの を線で結んでください。
- ✓ 次に、あなたのビジネスのビジネスモデルについて、当てはまる箇所に を付けて、6つの を線で結んでください。

(100%客観的に評価をすることはできません。ある程度直観で結構です)

(必ずしも右側の方が良く、左側の方が悪いというわけではありません)

ビジネスモデルの6つの柱



<得られる示唆について考える>

- ✓ あなたのビジネスと競合のビジネス、それぞれのモデルを見比べてみてください。
(似通っていますか？それとも大きく異なっていますか？異なっているとしたらどこですか？)
- ✓ もしも競合のビジネスモデルと非常に似通っているのであれば、あなたのビジネスモデルは、お客様にとって「Noting New」である可能性があります。
- ✓ 自社のモデルの中で、「本来そこにあるべきではない」ところに がついている部分がないかどうか、それを変えるために何ができるのか、考えてみてください。

ワークシートその2: (4つの感情スペース)



<現在の状況>

- ✓ お客様の「4つの感情スペース」のそれぞれについて、あなたのビジネスの商品やサービスを通じて、現在どういった働きかけができていますか記入してください。
- ✓ あなたのビジネスに足りない部分(セクシーでない部分)は、どこでしょうか？

<もし、変えられたら…>

- ✓ 次に、それぞれの感情スペースについて、改善できるとしたらどういったポイントがあるか記入してください。
- ✓ 「改善できるとしたら」であげたポイントについて、着手していないのはなぜか、阻害要因となっているのは何か、考えてみてください。

4つの感情スペース	あなたのビジネスの現在の状況	改善できるとしたら何があるか？
自分を大切にする Taking Care of Me <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分にご褒美を与えたい ✓ 良い気分・リラックス感を味わいたい 		
人とのつながり Connection <ul style="list-style-type: none"> ✓ コミュニティに所属したい ✓ 家族を大切にしたい ✓ 仲間とつながりたい 		
探求 Questing <ul style="list-style-type: none"> ✓ 新しいもの、知らないものに挑戦したい ✓ 学習し、新たな知識を身に付けたい 		
独特のスタイル Individual Style <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分のセンス、価値観、スタイルを大切にしたい ✓ 自分を表現できるもの、価値観を同じくするものに関わりたい 		